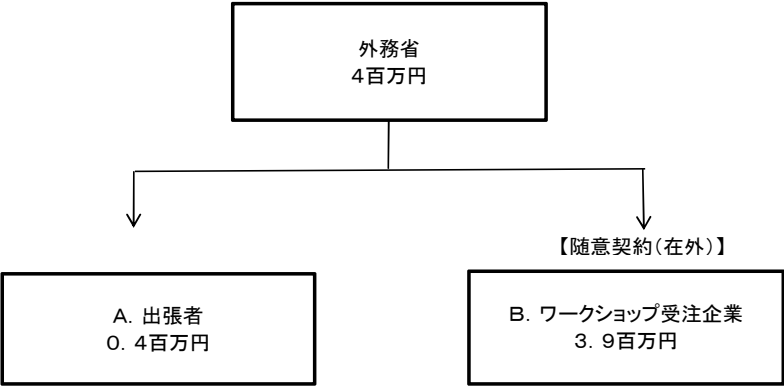


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	援助協力シンポジウム開催経費	担当部局庁	国際協力局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始	担当課室	開発協力企画室	室長 横田 敬一				
会計区分	一般会計	施策名	VI-1 経済協力					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項第1号(ハ)、24号及び同法第7条第1項	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アジア地域での開発について当事者たる各国が集まり、それぞれ伝統的なドナー国、新たなドナー国、被援助国の立場から、アジア自身の開発について意見交換し、情報共有を行い、国際社会にその知見を広めていくことは、これまで欧州の主張に偏りがちであった援助理念に関する議論を相対化し、援助に関する国際的な議論の中で我が国の立場を強化することにもつながる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	EAS諸国を集め、援助国・被援助国の観点からアジアの開発の成功や失敗についての教訓を引き出しつつ、新たな援助潮流に対応した効果的な開発援助のあり方について意見交換を行うと共に、域内新興ドナーの援助能力向上支援、さらには被援助国の援助卒業に向けてのアプローチ等について国際援助コミュニティへの提言を行うためのシンポジウムを開催する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	—	8	6	6	—	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	8	6	6	—	
	執行額		—	6	4			
	執行率(%)		—	82%	68%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	成果目標: アジア主導のDAC地域会合を実施し、「成長を通じた開発」や「能力開発の重要性」等、我が国が常に主張してきた開発における方針を国際場で確認。 成果実績: シンポジウム参加国・機関数		成果実績	参加国・機関数	25	25	25	25
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	○シンポジウム開催経費一部負担 1回		活動実績 (当初見込み)	回数	—	1回	1回 (1回)	— (1回)
					—	—	(1回)	(1回)
単位当たりコスト	(3, 866千円/シンポジウム開催)		算出根拠	○シンポジウム開催経費一部負担として、3, 866千円を1回支出				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費(外国旅費)	833	0					
	報告書作成	163	0					
	シンポジウム開催経費	5,394	0					
計	6,390	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	「第4回援助効果向上に関するハイレベルフォーラム」の準備会合として開催された「進化するグローバル援助構造ワークショップ」の開催経費の一部を負担し、アジア諸国の提言を国際援助コミュニティに反映させるための機会として活用した。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	廃止		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
廃止			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A. 出張者			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B. ワークショップ請負企業			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	IOCONVEX	4			
	(主催国である韓国政府にて選定)				
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載。

支出先上位10者リスト

A.出張者

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	旅費	0.2		
2	個人B	〃	0.2		
3	個人C	〃	0.1		
4					

B. ワークショップ請負企業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ICONOVEX	招へい費等	3.9	随意契約	
2					